

掲げた4つの公約の現状



子どもたちに夢のある未来を

- ・小学校に教科担任制と少人数学級を確実に実施の方向に向かっていきます。5、6年生への教科担任制の導入については市内で3校が実施。これから順次導入してもらえるように強く働きかけます。
- ・確かな学力と心豊かな人間像を「きんたくん学びの道場」という新事業により、学力の保証、向上を図ります。とりわけ学習習慣を身につけることに重点を置きます。



高齢者がいきいきと過ごせるまちに

- ・高齢者世帯への有効な施策
- ・高齢者へのきめの細かい行政サービス
福祉委員会事業のサポートをさせて頂き、行政内5部所（教育委員会・健康福祉部など）の連携を図りました。一部所ではできないことでも、垣根を取り、連携することでみんなに喜ばれる運営を考えていきます。



川西市の経済力を向上

- ・地産地消
福祉委員会事業に地産地消を絡めて、地域の魅力、良さを参加された方々に知ってもらいました。
- ・市保有地の有効利用
いよいよ中央北地区の開発が始まります。しっかりと見守っていきます。



安全・安心なまちづくり

- ・歩道の拡張を
みつなかホールから市役所までの歩道の拡張を要望しました。来年度に調査費用を計上するようさらに要望し、着実に前に進めたいと思います。
- ・能勢口駅周辺をスクランブル交差点に
警察・市に依頼しましたが、交通渋滞や自転車の事故の増加を理由に難しいとのこと。引き続き交渉を続けたいと思います。

ごあいさつ

後援会便りを、定期的に発行をしていきます。Vol.1 で市議会議員として初めて質問をした総括質問の内容のみになってしまいましたので、Vol.2 も合わせて発行させていただきました。

みなさまに私が掲げた公約の進捗状況や私が学んだことについてお伝えいたします。

自分が知ったことを伝えることにより、みなさまとともに成長していけると信じています。

ふれあい給食会に携わって

産経新聞と神戸新聞に掲載されましたが、川西小学校で、食べる喜び、みんなで味わう楽しさを感じてもらおうと、地域の高齢者と子どもたちが一緒に給食を食べる「ふれあい給食会」が開催されました。川小コミュニティの福祉委員会が主催され、全国的にも初めての取り組みとして注目されました。川西のお米やほうれん草を使い、栄養士さんや調理師さんが献立を考えてくれました。子どもたちも手作りのランチョンマットや箸袋を用意したり、保育所の子どもたちが歌を歌ってくれたり楽しい時間を過ごせました。私は企画の段階から関わらせて頂き、社会福祉協議会・市健康福祉部・教育委員会・子ども部・市民生活部他、関係する部署への協力・後援・連携の交渉をしました。繋がりが和となり、誰もが喜ぶ事業となり本当にうれしく思います。市内全ての小学校区で実現できることを期待します。



秋田修一後援会

TEL/FAX 072-758-2456
MAIL akita@carrot.ocn.ne.jp
<http://www.s-akita.jp>



川西の未来をともに創ろう！

川西市議会議員

秋田修一

後援会便り

vol.2



視察先 静岡市議会の議長席にて

まちづくり調査特別委員会 副委員長として静岡県静岡市清水区・掛川市の中心市街地活性化基本計画ならびに土地区画整理事業の先進例を勉強に行ってきました。

清水港、次郎長などをからめた駅周辺整備や、お茶を前面に押し出し掛川城を中心とした城下町の区画整理事業など、歴史や文化を上手に融合させて開発をしているところは是非見習うべきだと感じました。



3月定例会 予算承認



2月22日を皮切りに3月定例会が3月25日まで開催されました。45議案と7請願、2意見書、議会の条例の改正の審議をいたしました。中でも平成23年度の予算案については、一般会計と特別会計・公営企業会計の2つの予算審査特別委員会を設置して分割付託して審査をいたしました。460億円の一般会計、468億円の特別・企業会計が決まりました。市の広報に詳しい内容が掲載されています。



財政状況 伸びない税収の中で



何と言ってもお金の問題が重要です。税収は、地価の下落、市民税収の減少などにより、増えることを前提とした予算編成はできません。さらに、民生費（生活保護や保育所経費など）の増加により自由に使えるお金が減っています。川西市の中期財政収支計画では平成27年度に収支均衡をはかるようになっておりますが、交付税が政権交代により増加したことで税収減を埋める形になっています。この交付税が継続されれば大丈夫なのですが、ずっと貰える保証がないのが現状です。独自に、いかに収入を増やすか？支出を抑えるか？が鍵です。まずは、できるところから。ムダ・ムラを省いていきます。



どうする？川西市民病院



経営改革プランが策定されました。悪化の一途を辿っている経営状況に歯止めをかけるべく、消化器系疾患・生活習慣病・緩和ケアに対する取り組みを図り、医師の確保、業務の委託などを進め改善をしていく方向のようです。赤字予算を組むなどは民間では考えられないことですが、市民のための公的機関である以上止むを得ません。まずは、改善できるところは全て取り組んで頂き、経営の健全化を目指して頂きます。私たちも、いいところや特筆すべきところ、例えば最新の機器（内視鏡のカメラ・MRI・体外衝撃波結石治療機器他）の内容などを広く伝えていきます。その一方で、今後の市民病院の在り方や広域連携による運営の検討などの議論を深めていきます。



議会改革 定数削減提案



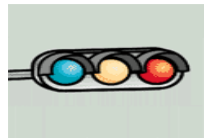
市民に開かれた議会にすべく現在協議中です。各党派ごとに改革の案を出して順次検討に入る予定です。私たちの会派は、定数の削減、ペーパーレス化、常任委員会や特別委員会の在り方についてなどを提案いたしました。一問一答制や反問権、議会報告なども今後の課題です。



多田銀橋の渋滞緩和



多田の銀橋を渡って国道173号線に合流する交差点に、北行に矢印信号（←）をつけることにより川沿いの道の渋滞の緩和策を図るよう、川西市役所の道路交通課と共に川西警察署に要望に行きました。まずは、右折車の軌跡調査をして、安全性の確保ができるのかについての確認を行って頂きます。ダメと判断されれば、ゼブラゾーンの拡大により軌跡がどう変化するか、安全性が確保できるのか判断して、次いで県警に上申していく段取りですすでに動いて頂いています。



橋詰公園に手洗い場新設



橋詰公園に、手洗い用の水道を！との要望を受けて、近隣自治会長との調整をした上で、川西市の公園緑地課に要望をいたしました。現在の水飲み場は公園の東端にあり、遠い上に死角の位置にあるので、より安全で使いやすくするための改善が必要です。時期は不明ですが、小屋の横あたりに設置予定です。

